

ラージフォーマットフィルムのデジタル画像変換法を改革！世界唯一、RW 独自の透過原稿エア一吸着保持法により、国宝級文化財記録をはじめとする 8x10 (ネガ・ポジ) フィルムの理想のデジタルデータ化がフラットスキャナで実現！従来不能としたガラス乾板に次ぐ平面固定性を確保しながら、同時に、ニュートンリング、像の歪み、部分ぼけ、フィルムずれすべてを完全に防止し、テープもパウダーも必要としない簡単操作で究極の全面高精細、完璧高画質取り込みを可能にする！

フラットスキャナ/マイクロテック-i900 専用

RW DIGITAL V-SCAN SYSTEM

## < RW Vaccum Holder MT-i900 8x10 >



●仕様・構造： 外寸：MT-i900 ガラスホルダーに準拠画面サイズ (195x245) に打ち抜いた上板と下板を 5 ミリ高の 11 本のピンで支え蝶番で開閉自在。

・上板 (アルミ厚 3 ミリ)：260x400・上板下画面周辺に吸着用スポンジマスク (手前に下板との吸引連結部)  
・下板 (アルミ厚 3 ミリ)：260x505・下板上に 2 ミリ厚ガラスを AN 面に上に側面を接着・下板左右両側にプラスチック各 5 箇所・左手前にエア排出金具・重量：約 1.8kg

●操作・機能：ネガを下板ガラス面に乳剤面を上に乗せて上板で抑えると下板から連結される上板周辺部からのエア吸引によりネガとガラス面の残留エアが排出され 8x10 ネガは下板上のアンチニュートンガラス面にびたりと平面吸着される。●ポンプ作動中はフィルムは全面がしっかりと吸引されネガずれなく、ニュートンリング、部分ぼけ、像の歪みも生じさせない RW 独自のネガ平面吸着保持法による。●セット簡単、テープ貼付けも AN 防止用パウダーも不要。●一枚ガラス式だからガラスぼけなし。●フラットスキャナで世界初、理想の 8x10 ネガの平面吸着保持を達成！ (特許取得 第 163317 号ほか多数)

### ●付属品

- ・ホルダー設置ベッド (梱包蓋裏面) 1
- ・スポンジカバー 1
- ・アルミサイドバー 2 本
- ・エアカプラー 一式
- ・スベア AN ガラス 一枚
- ・強力吸引ポンプ (レイシー 115RN) ゴムチューブ 2.5M 一式

価格 270,000 円 (税別)

### ■使用説明

#### ●梱包の開き方

- ① 縦位置で上蓋を開け、ひっくり返してこれをホルダーベッドとして、i900 の隣または反射原稿用カバーを開いた i900 の原稿台上に黒スポンジシートを敷いて設置し、本体をそのままベッド上に移す。
  - ② 裏側保護板、透明袋及びコの字型アルミサイドバーを外側にゆっくりずらして除去。
  - ③ ネガ押さえ用のスポンジカバーを外す。(スポンジ面へのほこり、ゴミの付着に注意。)
- 本体は、挿入時以外、両側にアルミサイドバーを装着し、常にフレームに必要な以上の力をかけないようにご注意ください。

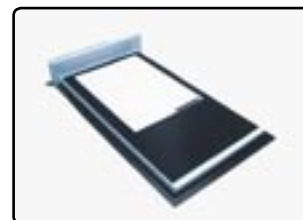
#### ●ポンプと本体の連結

ポンプと本体はポンプ付属の分岐栓を介して直接連結しても使用することができます。  
□ <エアカプラーの使い方>ご参照。

- ポンプは ON にしたままでも支障ありませんが、使用しないときはスイッチを切って下さい。
- 分岐栓 (E または D) を開放させると、ポンプ負荷を低減させることができます。吸着との兼ね合いで調節して下さい。ただし、スキャン中は吸引圧を変えないで下さい。
- 吸着時以外、加熱の原因になるので、分岐栓すべてを閉じないで下さい。

#### ●ネガセット

- ① 上板の下に指を入れ 10~20 センチ持ち上げ、他方の手で 8x10 ネガを AN ガラス面に乳剤面を上にして周辺が均等にフレームされるよう位置決めし、上板をゆっくり降ろす。ネガがずれると吸着しません。●上板の落下でネガを傷めたり、ガラスが割れないよう十分にご注意下さい。
- ② ネガ押さえ用のスポンジカバーをゆっくりスポンジ面を下に被せ、ネガとガラス面に残留しているエアを押し出し、必要があれば、左右にサイドバーを装着します。
- ③ 5~10 秒後、スポンジカバーを角端からゆっくりはがします。●急に除去するとネガ面がひっぱられ、ネガズレが生じ、吸着不良になります。
- ④ フィルムが確実に吸着されると反映像の歪みが消え、表面につぶつぶ状が見えてきます。それがフィルムが平面に吸着固定されたことを示す正常な状態です。こうなればネガはたとえ指で触っても動かなくなり、ニュートンリング、像の歪み、部分ぼけもない全面高精細のスキャンが可能になります。
- ⑤ 両サイドバーを用いているときはこれをゆっくり除去し、エアもれが生じないように両手で左右のフレーム部をしっかり保持しながら、i900 スキャナ本体挿入部にストッパー位置までゆっくり押し込みます。



① 上蓋部を反転したベッド



- ② ベッドに本体を載せ、上板を上げ、乳剤面を上にしたネガをガラス上にセットし、スポンジカバー及び、必要に応じて左右にサイドバーをセットしてエアを吸引。
- ③ 反射像とフィルム表面のつぶつぶ状を確認後、サイドバーを除去し、i900 本体に挿入してスキャン開始。

●**ホルダーの移動**： B を C から抜くと吸引がカットされますが、いったんネガが完全に吸着されると、吸引を解除しても、10 秒間程度は、エアーもれの心配はありません。その間にホルダーをスキャナに挿入して B を繋ぎ、開いた i900 の原稿面のガラス越しに吸着状態を確認しスキャンを開始して下さい。

●**ネガの除去**： カプラーの B を抜き、カプラーを使用しないときは分岐栓を開いてエアーを解放してからゆっくり上板を持ち上げて除いて下さい。

●完全にネガが吸着固定されている状態では無理に上板を引き上げないで下さい。

■**ご注意とお断り**

- 本番前にテストスキャンをおこなって下さい。
- 吸着しないとき**： ネガずれがあると、エアーもれがおこり吸着しませで遮断されていないかチェックして下さい。
- ネガが下板の 5 ミリ高のピンと上板の間で挟まれると、取り返しのつ

■**アンチニュートン (AN) ガラス部について**

- ①ガラス部にキズやショックを与えないよう常に注意して下さい。
- ②ガラスはその 2 ミリ厚の側面で粘着保持され、専用ホルダー同様に下板下面から 5 ミリ上位置に保持されているので、アルミサイドバーを用ずに、裏から強い圧力をかけるとガラスが外れることになります。
- ③したがって、ガラス表面はメガネクロス、クリーナー等で問題なく清掃できますが、ガラス裏面はサイドバーをセットした状態でもガラス面を強い力で押さえないで下さい。
- ④ガラス面にテープなどを貼付けるとエアーもれ、及びテープ汚れが生じるので避けて下さい。

●**ガラスを押さえている上板裏面のスポンジマスク**： 周辺が接着されており、無理にはがすと孔位置がずれ吸着に支障が生じます。

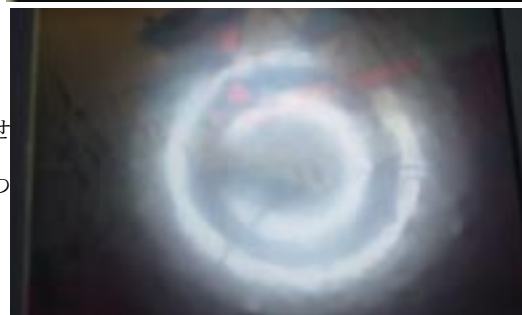
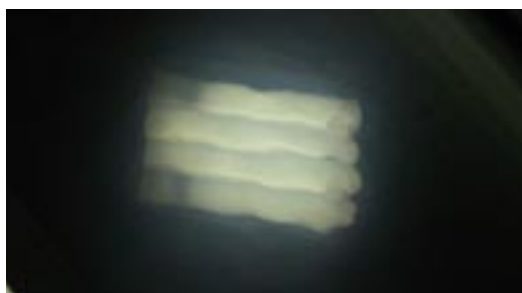
●吸引中、ネガ押さえ用カバーを被せた状態で上板を持ち上げないで下さい。フィルムとガラスが吸引され引き上げられることになります。

■**i900 原稿台上の使用**

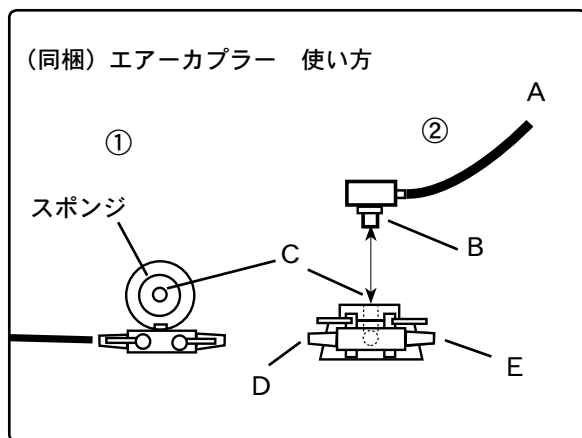
●原稿台上に黒スポンジシートを敷きその上にホルダーベッドを設置し、垂直にはね上げた反射原稿用カバーを上板の背もたれとする場合は、上板の落下事故に十分に注意が必要です。

●AN ガラスの交換はガラスの周囲の接着テープをはがし、3~5 ミリ幅のテープで同様にガラスの側面だけを接着して下さい。

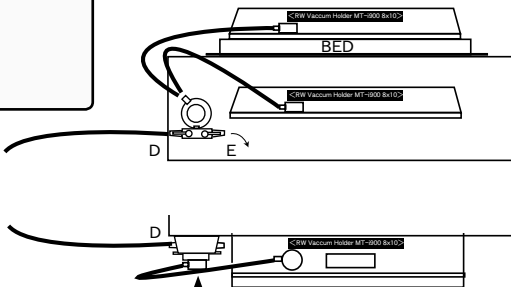
■上記のいかなる事故に関しても責任を負いかねますのでご了承をお願いいたします。



●吸着効果は、フィルム表面のつぶつぶ状と蛍光管等の反映像を視感で確認できます。



Air pump  
(レイシー 115RN)



■**セットの方法**

- ポンプからのチューブを①の D または E に、②の A を RW V ホルダー金具部に繋がします。ベッドをスキャナ原稿台上にセットする場合は、①を図のように、本体正面または側面、テーブル等の適当位置に、両面テープ、マジックテープ等で固定して下さい。それ以外の場合はチューブの長さを工夫してご使用下さい。
- 吸引は、B の突起をパッキング C に差し込み、解除には外して下さい。
- ネガ除去時は B を抜いてからゆっくり上板を持ち上げて下さい。吸着したまま上板を急激に持ち上げると、ネガとガラスが同時に引き上げられるのでご注意下さい。

RW 製品のシェア 100% の背景 RW の取得特許リスト / 色・画像関係：874084、1247025、2542495、2946332、3225297、3265427、3265427 / V システム関係：1613317、1663223、1968478、2779817、2916693、2985013、3205870、3416783。



**RW / 脇色彩写真研究所**

RW INSTITUTE OF COLOR AND PHOTOGRAPHY

〒185-0013

東京都国分寺市西恋ヶ窪 1-12-2 TEL/FAX 042-323-5710

http://www.mmjp.or.jp/rwicp TH5R-WK @ asahi-net.or.jp